

(a)日時及び場所

日時:2018 年 5 月 23 日(水)15:35-17:20

場所:特定非営利活動法人環境市民事務所

(b)理事の総数

13 人(うち定足数 9 人)

(c)出席した理事の氏名(以下、敬称略)

杵本育生、下村委津子、松田直子、加藤良太、瀬口亮子、早瀬昇、原田紀久子

以上 7 人。

特定非営利活動法人環境市民定款第 40 条第 1 項の規定により表決権を行使した理事は次の通り。

石崎雄一郎、片山雅男、神田浩史、白石克孝、松下和夫

以上 5 人。

同定款第 38 条の規定により定足数(理事総数の2/3)を満たし、開会した。

(d)議長 加藤良太を指名

(e)議事録署名人 下村委津子、松田直子

(f)議事録作成者 大西康史

以下詳細

(報告事項)

1)G20 大阪サミットに並行して開催する市民サミットについて

加藤理事より、伊勢志摩サミットの際と同様に並行市民サミット等を開催することが決まった旨と、環境市民を代表した立場でも加藤理事が参画している旨(その他の参加団体は、現時点では、関西 NGO 協議会、大阪ボランティア協会、気候ネットワーク、京のアジェンダ 21 フォーラム、ヒューライツ大阪等)、この開催のために新たに運営組織を立ち上げる必要がある状況となっている旨が報告された。

■付議事項及び決定内容

1)社員総会に付議すべき事項について

2017 年度事業報告(案)、2017 年度決算報告(案)、2018 年度及び 2019 年度の活動方針(案)、定款変更(案)、役員追加(案)について資料等により説明があり、以下の点を修正したうえで社員

総会に付議することが全会一致で承認された。

また、役員追加(案)は、前回理事会の議決結果を踏まえ、嘉田由紀子氏の追加を付議することが口頭で説明され、全会一致で承認された。

なお、2018年度及び2019年度の活動方針(案)は、中期計画に準じて社員総会に付議することが全会一致で承認された。

(2017年度事業報告(案)に係る修正点)

- ・社員総会、理事会、中期計画検討会議の開催日を追記する。
- ・会員の数を追記する。

(2018年度及び2019年度の活動方針(案)に係る修正点)

- ・主に実施することとSDGsに関することを目立つように修正する。

2) 社員総会に報告すべき事項について

2018年度事業計画(案)、2018年度事業予算(案)について資料により説明があり、以下の点を修正したうえで議決すること、及び2018年度事業計画及び2018年度事業予算として社員総会に報告することが全会一致で承認された。

また、外部評価委員意見書(案)は、委員(折田泰宏氏、宗田好史氏)に確認後、インターネットを通じて理事表決を行い、社員総会に報告することが提案され、全会一致で承認された。

なお、前中期計画(2013～2017年度)の自己評価(案)は、インターネットで理事が確認し、その要旨を総会で報告することが、全会一致で承認された。

(2018年度事業計画に係る修正点)

- ・学校環境共育サポート事業(No.23)に、3年生も対象となることを追記する。

3) 社員総会に併せて開催するワークショップについて

下村副代表理事より、エシカルなお気に入りの商品(実物または写真)を参加者に持参いただき、なぜ、それを持ってきたかを話してもらい、その背景等をぐりちよと絡めて議論するワークショップの開催を検討している旨が報告され、参加者が集まるように広報に力をいれることが確認された。

4) 広報・メディア・コミュニケーションの戦略と手法に関するワーキンググループについて

前回理事会で設置が議決された、広報・メディア・コミュニケーション戦略と手法に関するワーキンググループを7月頃から開催することが提案され、全会一致で承認された。また、ワーキンググループの検討課題や構成メンバーについて、以下のとおり意見が交換された。

(ワーキンググループの検討課題及び構成メンバーに係る意見交換内容)

- ・入会パンフレットの更新についても検討してはどうか。検討に当たっては、インターネット普及に伴う情報入手方法の変化等も踏まえて検討してはどうか(例えば、入会ページへのリンクを貼った

QRコードを掲載した名刺サイズのコミュニケーションカードに更新するなど)。

- SNS の活用方法及びその仕組みも検討してはどうか。
- メールニュースのあり方も検討してはどうか。検討に当たっては、環境市民ならではのこだわりも踏まえられれば望ましいのではないか。
- 構成メンバーとしては、下村副代表理事、加藤理事が参加表明した。また、以前に事務局で広報戦略を担当していた南村多津恵氏の参加の意向を得ている。さらに、理事や会員有志や広報に知見のある方にも積極的に参加してもらおう。

5) 次回理事会の日程について

7月下旬から8月上旬までの間で調整することが提案され、全会一致で承認された。

以上